

レジリエンス向上のための 施設利用の 新たな挑戦



開会挨拶 安藤 慶明 防災科学技術研究所理事/先端的研究施設利活用センター長
来賓挨拶 郷家 康徳 文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課長



室内空間の機能維持実験



悪天候下でのドローン機体性能検証実験



雪氷現象の解明や、屋根雪・着雪・吹雪・雪崩などに関する災害対策の効果検証

実大三次元震動破壊実験施設
(兵庫県三木市)

大型降雨実験施設
(茨城県つくば市)

雪氷防災実験棟
(山形県新庄市)

第1部 防災科研研究員による講演: - 研究動向と実験施設の新たな取り組み -

第2部 パネルディスカッション: - 産学連携による新たな利用と価値創造を考える -



モデレーター
東京大学
目黒 公郎 教授



(株)危機管理教育研究所
国崎 信江 代表



神奈川工科大学
木村 茂雄 教授



(国研)産業技術総合研究所
中坊 嘉宏 チーム長



(株)構造計画研究所
正月 俊行 室長



日東電工(株)
丸岡 伸明 主任研究員



(株)ティアフォー
岩永 明人 氏



(株)一条住宅研究所
高橋 武宏 課長

2023年3月6日(月)
13:30(13:00 開場)~16:30予定

【開催】オンラインと会場でのハイブリッド
会場 JAビルカンファレンス

〒100-6837 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル3F
<https://www.zenchu-ja.or.jp/conference/>

お申し込みはこちらから

【参加】 無料
【申込】 下記URLもしくはQRコードよりお申し込みください。(事前登録制)
<https://forms.gle/EjsQJ2VPV35zyN3W7>



お問合せ先

共創シンポジウム運営事務局(日本ミクニヤ(株)内) 担当:上園、松原 E-mail: sympo-r50306@mikuniya.co.jp

主催: 国立研究開発法人防災科学技術研究所

後援(予定): 一般社団法人防災機器検査協会/特定非営利活動法人応用斜面工学研究会/山口大学地域防災・減災センター
一般社団法人GLOSS研究会/一般社団法人日本ドローンコンソーシアム/一般財団法人先端ロボティクス財団
一般財団法人建材試験センター



プログラム 2023年3月6日(月) 13:30(13:00 開場)~16:30予定

防災科研が運用する世界最大級の大型実験施設のあり方をステークホルダーとともに考える会として「共創シンポジウム」をシリーズで開催しています。

今回は、「レジリエンス向上のための施設利用の新たな挑戦」をテーマに、都市を支える住宅・構造物から、生活・社会インフラまで広く視野に入れ、地震、大雨、降雪などによる災害の予防・軽減や発災後の被害の軽減に役立つモノづくりや情報の提供・利用のため、科学・技術の意義や果たすべき役割について考え、特に、先端的研究を支える大型実験施設だからこそ創りだせる知や技術がいかにレジリエンスの向上に有益かについて理解を深めるような討論を行います。

開会

開会挨拶 安藤 慶明 防災科学技術研究所理事／先端的研究施設利活用センター長
来賓挨拶 郷家 康徳 文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課長

第1部 [講演]

ー研究動向と実験施設の新たな取組みー

地震



先端的研究施設利活用センター
実大三次元震動破壊実験施設
(E-ディフェンス) 戦略室長

佐藤 栄児

「地震災害を取り巻く動向と
室内空間の安全に対する新たな
取り組み」

雨



先端的研究施設利活用センター
副センター長／
大型降雨実験施設 戦略室長

酒井 直樹

「雨に強いレジリエンスな
社会を支えるDX」

雪



先端的研究施設利活用センター
雪氷防災実験棟
戦略室長

佐藤 研吾

「雪氷防災実験棟を活用した
雪氷災害の再現とその対策への
取り組み」

第2部 [パネルディスカッション]

ー産学連携による新たな利用と価値創造を考えるー

モデレーター



東京大学 生産技術研究所

目黒 公郎 教授

- ◆ (株)一条住宅研究所 免振住宅推進部 高橋 武宏 課長
「ハザードの広がり」と住宅メーカーと防災科研への期待」
- ◆ (株)ティアフォー 岩永 明人 氏
「災害時にも運航可能な自律移動体の創出と実験施設の重要性」
- ◆ 日東電工(株)豊橋事業所 研究開発本部 基幹技術研究センター第2グループ 丸岡 伸明 主任研究員
「都市インフラの雪害対策を考える新たな視点を加味した実験研究」
- ◆ (株)構造計画研究所 建築構造工学部 正月 俊行 室長
「震動実験とシミュレーションの融合による室内安全への取組み」
- ◆ (国研)産業技術総合研究所 インダストリアルCPS研究センター 中坊 嘉宏 チーム長
「頑強なモノ作りからレジリエンスを支える機能維持に着目した技術の検証と信頼性の向上」
- ◆ 神奈川工科大学 機械工学科 空気力学研究室 木村 茂雄 教授
「着雪に対する交通インフラの着雪対策開発における実験施設の重要性と標準化」
- ◆ (株)危機管理教育研究所 国崎 信江 代表
「住民目線の暮らしのレジリエンスと施設のブランディング」

パネリストによる話題提供の後、第1部の講演者3名とパネルディスカッションを行い、モデレーターが総括します。

閉会

閉会挨拶 酒井 直樹 先端的研究施設利活用センター 副センター長

※当シンポジウムの最新の情報は、下記の先端的研究施設利活用センターポータルサイトでご確認ください。

▶▶▶ 先端的研究施設利活用センターの新着情報 ◀◀◀

先端的研究施設利活用センターポータルサイト

実験施設の利用に関する
情報サイト 1/27 OPEN



<https://www.bosai.go.jp/rikatsuyo/>

先端的研究施設利活用センターポータルサイトでは
実験施設の新作動画も順次公開。



E-ディフェンス



大型降雨実験施設



雪氷防災実験棟

